

# 取扱説明書

## セクショナルキッチン さくら・すみれ・クリンプレティ

このたびはクリナップ商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。  
この取扱説明書は、みなさまに商品を安全にそして長い間ご使用いただくために、注意事項やお手入れ方法についてまとめたものです。  
ご使用前には必ずお読みいただき、以後も手近に保管し、ご活用くださいますようお願い申し上げます。



※左のコードは、下記の番号を意味しています。  
商品に関する情報にはアクセスできません。

W102802000

2209E-16-03

# 適応機種

この取扱説明書は以下の商品に適応します。

「さくら」「すみれ」「クリンプレティ」

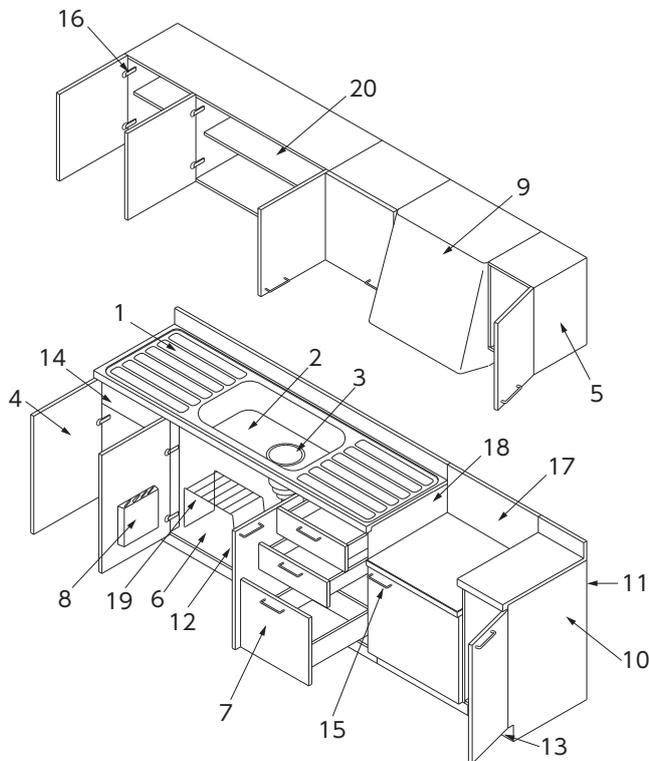
## もくじ

●定期的な点検	2
●安全にお使いいただくために	3～6
●ご使用方法について	6～11
シンクやワークトップのサビや傷などを防ぐために	6
排水トラップの使い方	7
キャビネットの使い方	7
包丁差しの使い方	8
引出しの脱着・調整のしかた	8
扉の調整のしかた	8～9
取っ手の調整のしかた	9
棚板の取り外しと取り付けのしかた	9～10
ムーブダウン吊戸棚の使い方	10～11
●お手入れ方法について	12～13
ステンレスワークトップ、ステンレスシンク、排水プレート・排水フタのお手入れ	12
排水トラップのお手入れ	12～13
包丁差しのお手入れ	13
樹脂部品のお手入れ	13
キャビネット、扉のお手入れ	13
丁番のお手入れ	13
水栓のお手入れ	13
機器類のお手入れ	13
●保証書について	14
●修理を依頼するとき	15
●廃棄処分について	15

# 定期的な点検

商品は長期間ご利用いただくことで、経年劣化してきます。安全にお使いいただくために、定期的に水漏れ点検と安全点検を行ってください。水漏れ点検は月一度、安全点検は年一度が目安です。

水漏れがあった場合、元栓や止水栓を締めてから、速やかにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。また、使用時に、部品が破損・脱落したり、ゆるんだりしている場合は、速やかにクリナップカスタマーセンターに修理を依頼してください。そのまま放置していると思わぬ事故の恐れがあります。



- 1…ワークトップ
- 2…シンク
- 3…排水器具
- 4…扉
- 5…吊戸棚
- 6…キャビネット
- 7…引出し
- 8…包丁差し
- 9…レンジフード
- 10…側板
- 11…背板
- 12…底板
- 13…けこみ板
- 14…補助幕板(幕板)
- 15…取っ手
- 16…丁番
- 17…コンロ台用バックガード
- 18…汚れ防止板
- 19…置網棚(さくら・すみれのみ)
- 20…棚板

点検箇所	点検の種類	点検方法	症状	想定される被害
1 ワークトップ 2 シンク	水漏れ点検	ワークトップ、シンクに穴開きやひび割れがないか確認してください。	穴開きやひび割れ	水漏れによる家財等の破損、破損部接触によるケガ
3 排水器具	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	排水接続部のゆるみ、破損	水漏れによる家財等の破損
4 扉	安全点検	扉を開閉して、変形やガタつき、異音がないか確認してください。	変形やガタつき、異音	落下によるケガおよび家財等の破損
	安全点検	扉の表裏面にひび割れやはがれがないか確認してください。	ひび割れや表面のはがれ	破損部接触によるケガ
5 吊戸棚	安全点検	吊戸棚が正常に取り付けられているか、ガタつきがないか確認してください。	本体の変形、ガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
	安全点検	棚板が正常に取り付けられているか、ガタつきがないか確認してください。	棚板の変形、ガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
6 キャビネット	水漏れ点検	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。	キャビネット内で水が漏れている	水漏れによる家財等の破損
7 引出し	安全点検	引出しに変形していないか、ガタつきがないか確認してください。	変形やガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損
8 包丁差し	安全点検	包丁差しにガタつきがないか確認してください。	ガタつき	包丁差しおよび包丁自体の落下によるケガ
9 レンジフード	安全点検	レンジフードの幕板、整流板、フィルターなどにガタつきがないか確認してください。	幕板、整流板、フィルターのガタつき	落下によるケガおよび家財等の破損

点検の結果、不備があった場合は、クリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

※アフターサービスのご用命 裏表紙を参照。

# 安全にお使いいただくために

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡や重症を負う恐れがある内容」が記載されています。



## 注意

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が生じる恐れがある内容」が記載されています。



禁止

この行為は禁止されています。



必ず実行

この行為を必ず実行してください。



接触禁止

特定の条件で特定の場所に触れると、傷害が起こる可能性があります。



注意

この行為は、注意が必要です。



ぬれ手禁止

製品をぬれた手で扱っていると感電する恐れがあります。



発火注意

特定の条件で発火の恐れがあります。

## 警告

- ◎電源コンセントの表示容量（ワット）を超える電気器具を使わないでください。発熱により、火災の原因になります。



発火注意

- ◎ぬれた手でコンセントや電気製品を触らないでください。コンセントや電気製品に水をかけないでください。感電や故障、漏電、ショートによる火災の恐れがあります。



ぬれ手禁止

- ◎調理機器の使用後および外出時には、スイッチをお切りください。周囲の可燃物に着火し、火災の原因になります。



発火注意

- ◎調理機器の上や周りには、燃えるものを置かないでください。周囲の可燃物に着火し、火災の原因になります。



発火注意

- ◎調理機器を使っているときは、その場を離れないでください。高温になりすぎて、火災の原因になります。



発火注意

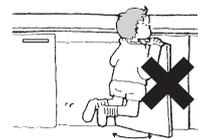
- ◎キッチンに組み込まれている機器、市販の調理機器などは、商品に付属の説明書および商品本体に表示されている事項をお守りください。使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になります。



必ず実行

## 注意

- ◎取っ手、扉、引出し、棚にぶら下がったり、体重をかけたりしないでください。破損し、ケガをする恐れがあります。



禁止

# 安全にお使いいただくために

## ⚠ 注意

◎引出しの取り外し、取り付け、調整などをする場合や、キャビネット内のお手入れをする場合は、引出しレールや部品などに十分ご注意ください。手や指などにケガをする恐れがあります。



必ず実行

◎ワークトップやキャビネット、扉、パネルなどに加工や改造をしないでください。破損や故障の原因になります。



禁止

◎床面に油などが飛び散ったらすぐに拭き取ってください。足を滑らせて転び、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

### 調理機器・組込機器類

◎調理中や使用直後は、調理機器周辺に手を触れないでください。やけどの恐れがあります。



接触禁止

◎流し台や調理台より低いガステーブル（コンロ）を設置しないでください。ガステーブルの熱により流し台などが加熱され、火災の原因になることがあります。



禁止

### シンク

◎シンクにまな板を渡した状態で、カボチャなどの硬いものや切りにくいものを切らないでください。まな板がシンクから外れて、ケガをする恐れがあります。ワークトップ上で作業をしてください。



禁止

◎てんぷら油や多量の熱湯を、直接排水口に流さないでください。排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。また、てんぷら油などは、排水管のつまりの原因になります。



禁止

### 水栓

◎混合水栓を使用するときは、必ず水を先に出してください。湯を先に出すと、水栓および熱湯で、やけどをする恐れがあります。特に、お子様にはご注意ください。



必ず実行

### キャビネット

◎包丁差しの固定ねじがゆるんでガタつきが発生したときは、ねじを締め直してください。包丁差しが外れてケガをする恐れがあります。



必ず実行

◎包丁を差したまま包丁差しや引出しのお手入れを行わないでください。包丁の刃に触れ、ケガをする恐れがあります。お手入れは包丁を取り出してから行ってください。



禁止

◎開き扉が傾いたり、ガタついているときは、丁番のねじを締め直してください。扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

※扉の調整のしかたはP.8～9をお読みください。

◎開き扉開閉時は、丁番には触れないでください。丁番に指をはさむ恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。



禁止

# 安全にお使いいただくために

## ⚠ 注意

### キャビネット

◎引出しの開閉時は、ワークトップや引出しの扉上部に手をかけないでください。  
ワークトップと扉の間に指をはさむ恐れがあります。



禁止

◎扉を大きく開けすぎないでください。  
丁番が破損したり、扉が外れて、ケガをする恐れがあります。



禁止

◎棚受けダボは確実に奥まで差し込んでください。  
棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

◎キッチンの引出し、吊戸棚や各キャビネットへの収納は、下表の耐荷重以下として、収納物を均等に載せてください。重量が限度を上回ったりかたよったりすると、棚板や引出しの破損につながったり、載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

部位	耐荷重
棚板一枚	20 kg
底板一枚※仕切り板が入っている場合でも、底板は一枚です。 ただし、キャビネットが分割している場合は、底板は一枚ずつになります。	20 kg
樹脂引出し1段	5 kg
隅調理台(回転棚1枚)	10 kg
ムーブダウン吊戸棚	15 kg

\*20kg= 直径26cmの大皿25枚以内が目安です。

### 吊戸棚

(ムーブダウン吊戸棚の場合)

◎収納物がはみ出したまま昇降させないでください。  
収納物の落下によるケガや、キャビネットの破損の恐れがあります。



必ず実行

◎割れやすいもの、不安定なもの、包丁・薬品・熱せられた調理道具などの危険なものを収納しないでください。また、高さガイドバーより高いものを収納しないでください。  
収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。



禁止

◎操作部以外に手をかけないでください。また、機構部や本体のすき間に手を入れないでください。  
手をはさむ恐れがあります。



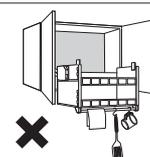
禁止

◎勢いよく昇降しないでください。  
収納物が落下したりして、ケガをする恐れがあります。また、故障の原因になります。



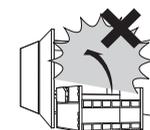
禁止

◎操作レバーにもものを引っ掛けないでください。  
収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。また、故障の原因になります。



禁止

◎バネ切り替えレバーは、収納重量に対して適切にセットしてください。  
収納ラックが勢いよく戻ったり急降下して、収納物が落下したり、収納ラックが変形・落下し、ケガをする恐れがあります。(P.10～11を参照してください。)



禁止

# 安全にお使いいただくために

## 洗 剤

◎台所で使われる洗剤・洗浄具・殺虫剤・防腐剤・その他薬品類は、それぞれの容器などに表示されている事項をお守りください。使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、キッチン本体や機器類が傷み、水漏れ事故や故障の原因になることがあります。



必ず実行

◎固形または粉末の塩素系の洗浄剤（ヌメリ取り剤など）を使用したり、近づけたりしないでください。水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化およびサビを発生させ、水漏れにつながる場合があります。



禁止

## ご使用方法について

### ■シンクやワークトップのサビや傷などを防ぐために

◎ぬれた包丁・塩・醤油、または鉄製のタワシやステンレス以外の金属（缶詰など）を放置しないでください。もらいサビを引き起こし、腐食して穴が開く恐れがあります。



禁止

◎キャビネット内に調味料、洗剤などを保管する場合は、液垂れしないように必ず密閉してください。サビや変色の原因になります。



必ず実行

◎粒子の粗いフレンザー類（研磨剤 20% より粗いもの）やメラミンフォーム、金属タワシなどで、表面をこすらないでください。ワークトップをまな板代わりに使用しないでください。傷がつく恐れがあります。



禁止

◎硫酸、塩酸などの強酸、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤、塩素系の洗剤は使用しないでください。変質・変色・サビの原因になります。（キャビネット内での溶剤の保管は十分注意してください。）



禁止

◎強い衝撃を与えないでください。また、ワークトップに乗らないでください。破損の原因になります。



禁止

◎ワークトップの上に熱い油鍋、沸騰したやかんなど、熱いものを直接置かないでください。変色・変形・割れ・ふくれ（ステンレスワークトップの場合、裏面接着剤のはがれが原因）などの恐れがあります。万一、置く場合は鍋敷き（厚さ 1 cm以上）などを使用してください。



禁止

◎ワークトップの上に水滴や汚れを残したままにしないでください。水あかや汚れが落としにくくなります。こまめに拭くようにしてください。

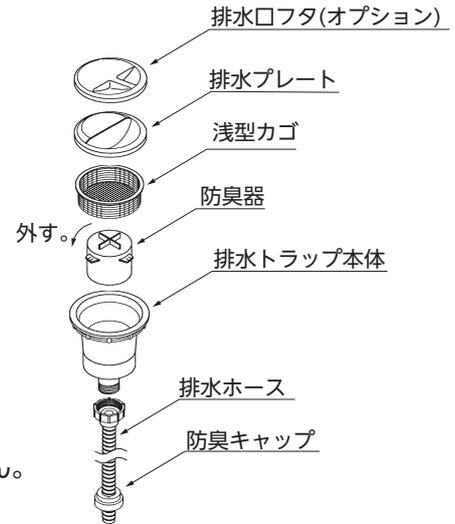


禁止

# ご使用方法について

## ■排水トラップの使い方

- 排水トラップは、右図の構成になっています。
  - 排水トラップの役割は、封水することにより、排水管からの悪臭を防止し、防虫することです。
  - 浅型カゴは、調理クズを一時的ためておくところです。必ず取り付けてください。  
取り付けないと、悪臭の原因になったり、調理クズなどが排水口に流れ込み、排水管のつまりの原因になります。
  - 防臭器は、排水管からの悪臭を防止し、防虫するところです。
- ※BL認定品には、排水ホース、防水キャップは同梱されていません。  
※お手入れ方法や取り外し方については、P.12をお読みください。



◎浅型カゴにためたゴミは、半日以上ためると悪臭が発生する原因になりますので、こまめに捨ててください。



必ず実行

◎防臭器は、通常使用時に取り外さないでください。  
配水管からの悪臭が発生します。排水口本体のお手入れと高圧洗浄を行う際に取り外します。



禁止

## ■キャビネットの使い方

◎ストーブ・暖房器具などを近づけないでください。キャビネットや扉などの反りや変形の恐れがあります。



禁止

◎開き扉・引出し前板やボードなどにテープや吸盤などを長期間取り付けたままにしないでください。変色やはがれ、ふくれなどの恐れがあります。



禁止

◎開き扉・引出し前板・側板に水をかけたまま放置しないでください。表面のふくれの原因になります。



禁止

◎室内の温度や調理機器の使用時間・方法などによってコンロキャビネットおよび、隣接するキャビネットの庫内温度が上昇するので、収納物の保存には留意してください。温度変化によって劣化しやすい調味料や食材の保存や、長期保存は避けてください。保存にあたっては、調味料や食材に記載の保存方法に従ってください。



注意

◎開き扉・引出し前板・棚板・取っ手に家具用ワックス、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤、カビ取り剤などを使用しないでください。変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれる原因になります。(キャビネット内での溶剤の保管は充分注意してください。)



禁止

◎調理機器のグリル扉を開けたまま、グリルを使わないでください。  
機器上部の変色やワークトップの焦げや破損、隣接する部材の変形などの恐れがあります。



禁止

◎ワークトップ上に炊飯器を置いて使う場合、吊戸棚・アイエリア吊戸棚に直接蒸気がかからないように留意してください。結露により水滴がつき、キャビネットの塗装がはがれたり、ふくらんだりする恐れがあります。水滴を乾いた布で拭き取ってください。



注意

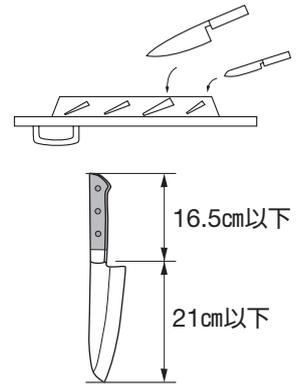
# ご使用方法について

## ■包丁差しの使い方

●包丁を4本収納できます。包丁差し込み口は、3タイプあります。出刃包丁などの刃の厚さがある包丁は、厚さの太い方（右から2つめ）に収納してください。

小さい果物ナイフなどは、厚さの薄い方（右端）に収納してください。

●包丁は、全長37.5cm以下、柄の長さ16.5cm以下、柄の下端から刃の先まで21cm以下のものが収納できます。形状によっては入らないものもあります。



◎確実に包丁を差し込んでください。

扉を引き出したときに包丁がガタつき、思わぬケガをする恐れがあります。



◎包丁は水気をよく拭き取ってから収納してください。

ぬれたまま収納すると、扉や引出しが変形・腐食する恐れがあります。



## ■引出しの脱着・調整のしかた

●引出しの脱着のしかた

●引出しをストップするところまで引き出し、持ち上げながら引くと外れます。

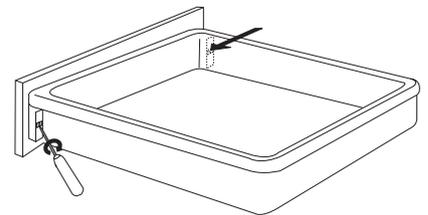
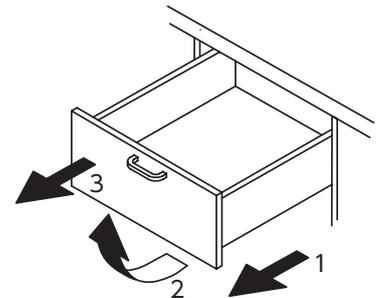
●引出しを取り付けるときは、上記と逆の手順で取り付けてください。

※引出しを脱着するときは、収納物を出してください。

●引出し前板の調整のしかた

引出し外側の引出し前板を固定している3本のねじの中央のねじを、⊕ドライバーでゆるめてください。

次に、引出し前板の位置を調整し、ねじを締め直してください。



◎ねじをゆるめすぎないでください。引出し前板が落下して、ケガをする恐れがあります。



## ■扉の調整のしかた

◎扉を調整する場合は、ねじをゆるめすぎないでください。ねじをゆるめすぎると扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。

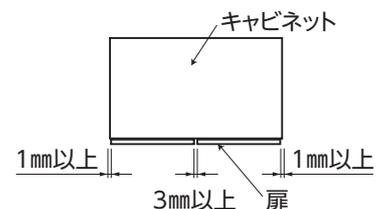


●調整前に丁番、座のゆるみがないことを確認してください。

ゆるみがある場合は、しっかり締め付けてください。

●扉の左右両端とキャビネットの外側との間隔が1mm以上になるよう左右調整してください。また、左右両開き（観音開き）扉の場合は、扉と扉のすき間が3mm以上になるようにしてください。

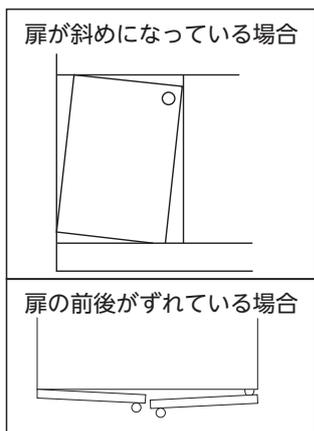
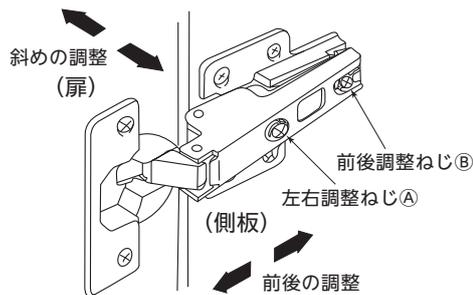
●扉面とキャビネットが平行になるように調整してください。



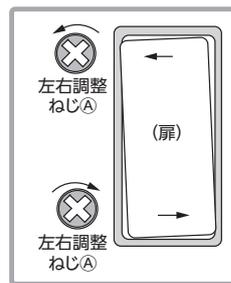
# ご使用方法について

## ■扉の調整のしかた (つづき)

- 扉の調整
- 扉がガタついたときは、⊕ドライバーで左右調整ねじAと、前後調整ねじBを締めます。



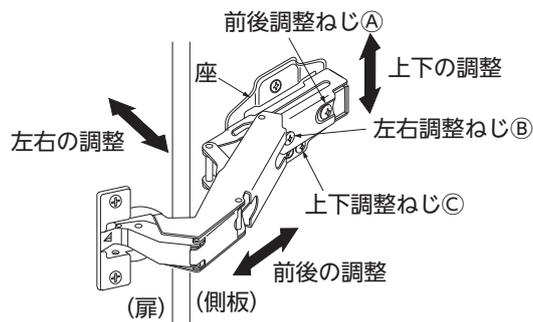
- (1)前後調整ねじBを締めたまま調整してください。
  - (2)左右調整ねじAを反時計回りに回すと、側板と扉の間隔は狭くなり、左右調整ねじAを時計回りに回すと、側板と扉の間隔は広くなります。
  - (3)左右調整ねじAで調整終了後、必ず前後調整ねじBを時計回りにしっかり締め直してください。
- 前後調整ねじBをゆるめ、扉の前後を合わせた後、再び前後調整ねじBをしっかりと締め付けます。(扉が前後に動かないときは、左右調整ねじAを少しゆるめてください)



## ●上下調整のしかた (隅吊戸棚のみ)

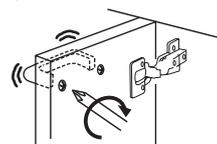
上下調整ねじCをゆるめ、座を上下に調整後、再び上下調整ねじCをしっかりと締め付けてください。

〈隅吊戸棚の場合〉



## ■取っ手の調整のしかた

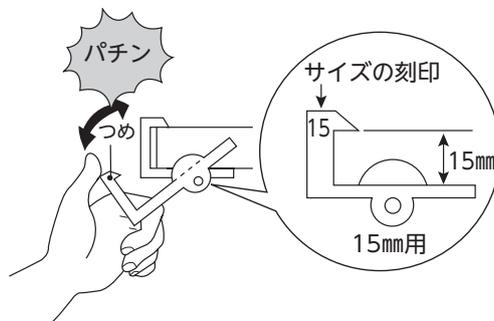
- 取っ手のねじがゆるんだときは、⊕ドライバーでねじを締め付けてください。



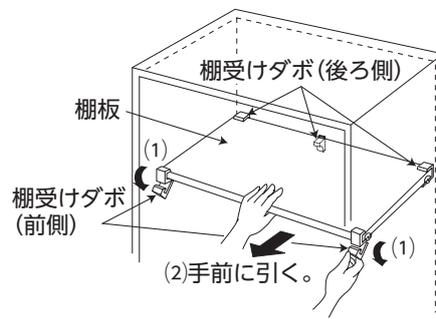
## ■棚板の取り外しと取り付けのしかた

### ●棚板の取り外し方

- (1)前側の左右の棚受けダボのつめ部分を、棚板を押さえながら、“パチン”と音がして外れるまで手前へ強く引いてください。



- (2)棚板を前へ引いて取り外してください。



# ご使用方法について

## ■棚板の取り外しと取り付けのしかた（つづき）

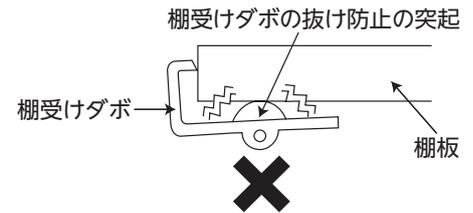
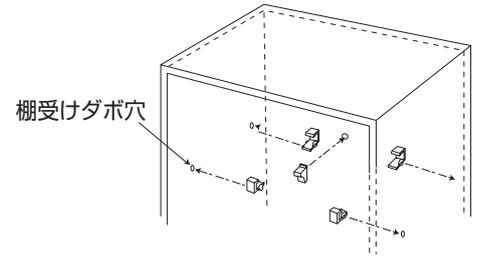
### ●棚板の取り付け方

(1)右図のように、棚受けダボを棚受けダボ穴に根元まで差し込んでください。

※幅の大きい棚板は、キャビネット背板の中央部分にも棚受けダボがあります。

※差し込みが浅いと、棚板が棚受けダボの抜け防止の突起部分に当たり、棚受けダボが破損する恐れがあります。

※棚板をセットするときは、棚受けダボにある「抜け防止の突起」を変形させないでください。  
棚板のガタつきの原因になります。

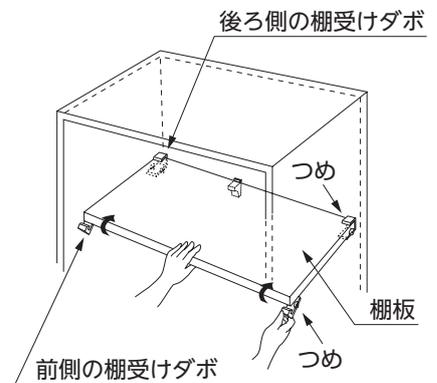


(2)後ろ側の棚受けダボのつめに棚板をしっかりとめ込んでください。

(3)棚板を押さえながら、前側の棚受けダボを下から強く押し上げてください。  
つめが棚板にはめ込まれ、“パチン”という音がするまで押し上げてください。

(4)棚板にガタつきがないか、確認してください。

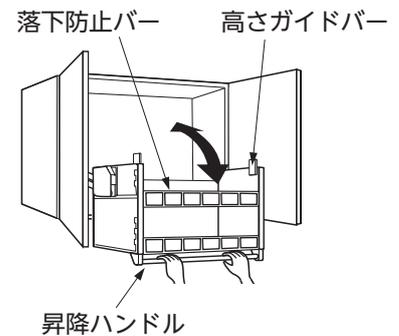
※ガタつきがある場合は、再度取り付け直してください。



## ■ムーブダウン吊戸棚の使い方

●両手で昇降ハンドルを持ってゆっくりと出し入れしてください。落下防止バーを持って引き出さないでください。落下防止バーが外れたり、曲がったりする恐れがあります。

収納ラックをキャビネット内に入れる場合は、昇降ハンドルを押し上げてください。底を持ってキャビネット内に入れると、手をはさむ恐れがあります。



●収納ラックを引き出す場合は、勢いよく引き出さないでください。  
収納物の落下の原因や機構部の故障の原因になります。

●収納物が高さガイドバーより上へ出ないようにしてください。ビンなどの不安定なものや、<sup>ほうちょう</sup>包丁・薬品などの危険なものを収納しないでください。  
収納物が落ちてきて、ケガをしたり、収納ラックが破損したりする恐れがあります。

●割れやすい食器や、ぬれたものを収納しないでください。  
破損やサビの原因になります。

●収納ラックが降りてくる範囲には、背の高いものや突起物を置かないでください。  
収納ラックとぶつかり、破損する恐れがあります。

# ご使用方法について

## ■ムーブダウン吊戸棚の使い方（つづき）

◎調理作業時などに、収納ラックを降ろしたまま放置しないでください。  
頭などをぶつける恐れがあります。



◎ムーブダウン吊戸棚の昇降ハンドルには、ぶら下がったり登ったりしないでください。  
収納ラックが落ちてケガをする恐れがあります。



◎棚に衝撃を与えるようにものを置いたり、ものを引きずらないでください。  
傷や破損の原因になります。



◎昇降操作はハンドルの中央を持ってゆっくり行ってください。  
端を持つと、レールが変形し、異音、破損の原因になります。また、勢いよく引き出すと、  
収納物の落下や、機構部の故障の原因になります。

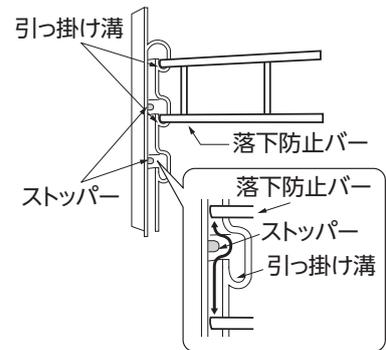


●収納物の落下防止のために、必ず落下防止バーを掛けてください。

●収納物に合わせて、落下防止バーの位置を調節してください。

落下防止バーを両手で持ち、引っ掛け溝から外して、  
右図のようにストッパーをよけながら上下に移動させてください。

位置が決まったら、落下防止バーの両端を確実に、引っ  
掛け溝に入れてください。



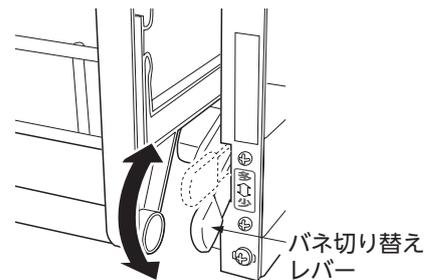
●使い始めの何も収納物が載っていないときは、バネ切り  
替えレバーを左右ともに「少」の位置にしてから、引き下  
ろしてください。

それ以外の位置では、操作が重く感じます。

●下の表を目安にバネ切り替えレバーを収納量に応じて調  
節し、適切な範囲で使用してください。

また、収納物の出し入れの後には必ず操作性を確認して、  
必要があれば調節してください。

●収納ラックが下がっているときには、レバーは切り替え  
できません。



収納重量	レバー	左レバー	右レバー
約0～5kg		少	少
約5～10kg		少	多
		多	少
約10～15kg		多	多

※<sup>しゅうげき</sup>衝撃がなく、ちょうど下まで降下する状態が、そのレバー設定  
の限界重量目安です。

# お手入れ方法について

## ■ステンレスワークトップ、ステンレスシンク、排水プレート・排水フタのお手入れ

### 通常の汚れ

中性洗剤（または石けん液）をスポンジまたは水を含んだ布につけて、強めに拭いてください。汚れが落ちたら、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、最後に乾いた布で乾拭きしてください。

※汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなります。こまめにお手入れしてください。

※ワークトップを部分的にお手入れすると、拭き取った部分に変色したように見える場合がありますが、変色ではありません。ワークトップ全体をお手入れするようにしてください。

### 落ちにくい汚れ

中性洗剤をつけたメラミンフォーム（推奨品：レック株式会社 激落ちくん）、または粒子の細かい（研磨剤20%以下）クレンザー（液体クレンザーなど）を用いてください。仕上げは、通常の汚れの場合と同様に行ってください。

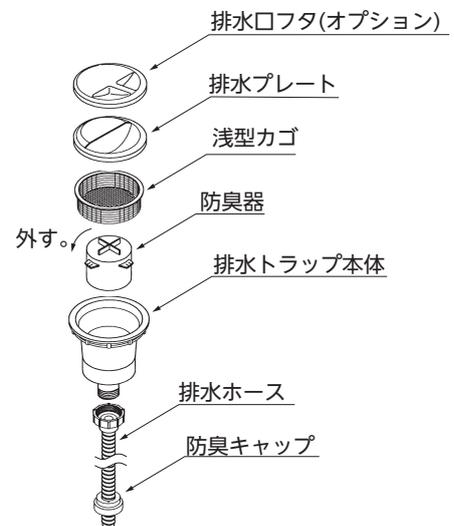
## ■排水トラップのお手入れ

●排水プレート、浅型カゴの汚れは、週に1回以上、中性洗剤（または石けん液）を使用して汚れを落としてください。

●防臭器、排水トラップ本体のお手入れは月に1回を目安に行い、臭いやつまりを感じたら、その都度行ってください。汚れは、中性洗剤（または石けん液）をスポンジや洗浄ブラシなどにつけて、こすり落としてください。汚れが落ちたら、洗剤をきれいに洗い流してください。防臭器、排水トラップ本体に汚れが残ったまま防臭器を取り付けると、配管から臭気がシンク側へ漏れて悪臭の原因になります。

※ゴミ処理およびお掃除の際は、排水プレート、浅型カゴ、防臭器の順序で取り外してください。

※防臭器は、反時計回りに回すと簡単に取り外すことができます。



◎浅型カゴのお手入れは、必ず排水口本体から取り外して行ってください。設置した状態で強い力を与えると、変形したり・傷がつく恐れがあります。

◎洗剤をステンレス部分に長時間放置しないでください。変色の恐れがあります。

◎成分にケイ酸塩(オルトケイ酸ナトリウムと成分表示している洗剤)を含んだ洗剤は使用しないでください。万一、誤って使用した場合は、シンクや排水口本体に残らないよう水できれいに洗い流してください。

◎集合住宅などで行う排水管洗浄業者様による排水管の集中洗浄（高圧洗浄）の場合は、排水トラップ本体に高い水圧をかけないように打ち合わせしてください。排水器具などが変形し、水漏れの原因になることがあります。

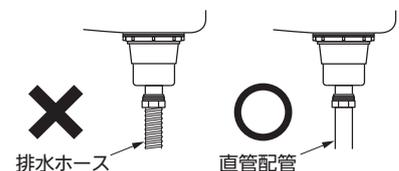
また、集中洗浄（高圧洗浄）の際に使用するホースは樹脂製を推奨します。

●高圧洗浄を行う場合は、防臭器を取り外してください。防臭器は反時計回りに回せば取り外せます。

洗浄後は、防臭器を時計回りに回して取り付けてください。

排水ホースで接続されている場合は、高圧洗浄はできません。

直管配管している場合のみ高圧洗浄が可能です。



必ず実行



禁止



禁止



必ず実行

# お手入れ方法について

## ■包丁差しのお手入れ

- 薄めた中性洗剤を布などに含ませ、汚れを落とします。次に、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾拭きしてください。

- ◎包丁差しを固定しているねじは、外さないでください。包丁の落下につながります。



## ■樹脂部品のお手入れ

- 薄めた中性洗剤を布などに含ませ、汚れを落とします。次に、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾拭きしてください。
- 洗浄力の強い洗剤成分、または油煙などの油成分を付着したまま放置すると、ひびや破損の原因になりますので、必ず拭き取ってください。
- 油脂類、シンナー、酸性の洗剤、塩素系やアルカリ性の洗剤などは使用しないでください。ひびや破損の原因になる恐れがあります。

## ■キャビネット、扉のお手入れ

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
  - 汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落とします。次に、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で乾拭きしてください。
- ※家庭用ワックスは、変色の原因になる場合がありますので、使用しないでください。
- ※有機溶剤では拭かないでください。塗装が取れる場合があります。
- ※扉や側板に付着した汚れや水滴は放置しないでください。扉や側板の変色、はがれ、ふくれなどの原因になります。

## ■丁番のお手入れ

- 丁番は、ときどき汚れやほこりを取り除いてください。また、ときどき潤滑油などを注油すると、開閉がなめらかになります。

## ■水栓のお手入れ

- 洗剤などが付着して汚れた場合は、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
- クレンザー・酸性洗剤・漂白剤などは、めっき面を傷つけたりはがしたりしますので、絶対に使用しないでください。
- 定期的にキャビネット内を見て、漏れなどがいないか確認してください。
- 詳しくは、水栓に付属の説明書をお読みください。

## ■機器類のお手入れ

各機器に付属の説明書をお読みください。

# 保証書について

## 保証書

◎セクショナルキッチン用(BL共通)

シリーズ・品番	さくら、すみれ、クリンプレティ			出張修理
保証期間	取付・設置日から2年間		★取付・設置日	年 月 日
	BL認定品は取付・設置日から2年間(「シンク防水機能」、「キャビネット本体の剛性」は5年間)			
★お客様	ご住所			
	お名前	様 TEL ( )		
★販売店	住所			
	店名	TEL ( )		(印) またはサイン

### 無料修理規定

★印欄に記入がない場合は、商品に貼付されている検査済証に記載のロットNo.などから確認できる製造年月日により、保証期間の開始日を認定させていただきます。

本保証書は、取付・設置日から本保証書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。  
保証期間中は無料修理になりますので、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。
- 修理が保証期間中の無料修理に該当するかどうか、また、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご転居の場合の修理依頼先は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。
  - (1) 使用上の故意・過失または不適切な修理や、改造による故障および損傷。
  - (2) 消耗部品(照明の管球、グローランプ、パッキンなど)の取り替えや修理、ストレーナーのゴミづまりなどによる故障および損傷。
  - (3) お買い上げ後の取付・設置場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
  - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)による故障および損傷。
  - (5) 車両、船舶などに取付・設置された場合に生じる故障および損傷。
  - (6) 仕上げの傷などで、お引き渡し時に申し出がなかったもの。
  - (7) 瑕疵によらない自然の損耗、サビ、カビ、変質、変色、その他類似的事由による場合。
  - (8) 維持管理の不備による汚れ、サビ、給水管、排水管のつまりなどの不具合。  
例えば、塩素系の洗剤、漂白剤、ヌメリ取り剤の使用によるシンク、カウンターのサビや腐食。
  - (9) 第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。  
例えば、ハウスクリーニング業者が指定の洗剤以外のクリーニング剤を使用してシンク、カウンター、扉などに変色や腐食が生じた場合、また、禁止されている方法で洗剤などを噴霧あるいは塗布したことによって機器の作動不良が生じた場合。  
ならびに、浄化槽や洗剤から発生するガスによるシンクや金属部品の腐食。
  - (10) タバコの火、商品を傷める薬品(有機溶剤、塩素系洗剤、強酸、強アルカリ性洗剤など)の使用により、発生した損傷。
  - (11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物や虫などの害に起因する故障および損傷。
  - (12) 取付・設置説明書に記載された方法以外の取付・設置、または工事内容に起因する故障および損傷。
  - (13) 建築躯体の変形(強度不足、ゆがみ)など商品以外の不具合に起因する故障および損傷。
  - (14) 異常電圧や指定外の燃料・電源(電圧・周波数)の使用および異常水質による故障および損傷。
  - (15) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合。
  - (16) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
  - (17) 取付・設置完了後、引き渡し日までの間の管理などの不備による故障および損傷。
  - (18) 保証期間経過後に申し出があった、もしくは、保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった故障および損傷。
  - (19) 本保証書のご提示がない場合。
  - (20) 本保証書に取付・設置年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合(領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません)、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - (21) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。

5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

6. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※お客様にご記入いただいた個人情報、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※本保証書は、明示した期間、条件の基において無料修理をお約束するものです。

したがって、本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※修理記録(年月日、修理内容、修理者名など)については、修理の際に修理伝票をお渡しいたしますので、大切に保管してください。

### BL認定品について

※BL認定品は流し台、調理台、コンロ台、吊戸棚の本体内部にBL認定証紙が貼付されています。

※BL認定品は一般財団法人ベターリビングより保証責任保険(瑕疵保険)と損害賠償責任保険が付保されます。

※一般財団法人ベターリビングが認定したBLマークのついた優良在宅部品については、万一当社または取付・設置業者が倒産等している場合、当社等による瑕疵保証責任等に代わる措置が同財団から受けられます。

ご相談窓口：クリナップカスタマーセンター TEL 0120-126-174

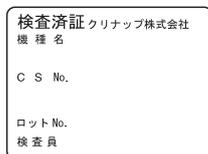
**クリナップ株式会社**

〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22

## 修理を依頼するとき

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、再度点検して、異常のあるときは、工事店・販売店、または裏表紙のクリナップカスタマーセンターまでご依頼ください。  
また、ご連絡する際は、キャビネット内に貼付してある検査済証の機種名・CSNo.・ロットNo.も合わせてお知らせください。

《キャビネット貼付シール》



※CSNo.は、  
記載されていない  
場合もあります。

《お客様メモ》アフターサービスのご連絡に便利です。

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	☎

## 廃棄処分について

- この商品を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

- ご使用にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または下記クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

- お電話でのご用命

**☎0120-126-174**

クリナップカスタマーセンター

通話料  
無料

- インターネット窓口(クリナップホームページ内)

<https://cleanup.jp/support/>

☞ 右の2次元コードで [お客様サポートサイト] へ



**受付時間 9:00～17:00**

- \* 9:00～11:00および12:00～13:00は混みあいます。
- \* 年末年始はお休みさせていただきます。
- \* 諸般の事情により営業日、受付時間が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- \* インターネット窓口では、Q&A(よくあるご質問)をご紹介します。
- 修理、お問い合わせは専用ページでも受付しております。

お電話は、内容の確認と商品機能やサービスの質の向上などを目的として、記録・録音させていただくことがあります。  
あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針は<https://cleanup.jp/>に公表しております。

**レンジフードフィルターなどの  
訪問販売に関するご注意**

クリナップの名前をかたって、レンジフードの交換用フィルターなどを訪問販売したり、電話で注文を取ろうとする業者がありますが、当社とは一切関係ございませんので十分ご注意ください。

**クリナップ株式会社**

〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22